

2015.9.26～27 (於) 花巻市湯口字大沢 大沢温泉

三陸の海を放射能から守る岩手の会 10周年記念大交流



三陸の海を放射能から守る岩手の会

三陸の海を放射能から守る岩手の会 発足十年の歩み(2005.2.22~2015.8.31) 2015.9.26十周年記念資料

活動内容について詳しくは会のHPや会誌“天恵の海（止めよう再処理）”をご覧ください。

活動前史

- 1981.9 市民が「放射能汚染からふるさとの自然と子ども達のいのちを守る会」を結成
　　旧滝沢村RMC建設計画に反対し活動開始
- 1983.6 RMC建設着工 1987.6 RMC操業開始 公害防止協定（19核種のみ搬入、監視委員会を設置）
- 1988.5 第1回RMC放射線監視委員会 “守る会会員”（高教組公害調査委員会委員）が就任 現在も継続
- 2003.12 RMCへ研究用廃棄物搬入計画が発覚し、反対運動開始 2004.9柳村村長研究用廃棄物導入計画断念
- 2004.12 八戸市で市民活動家の方々と“守る会”会員とで、日本原燃六ヶ所再処理工場について情報交換会

活動日誌 行事等主なものを挙げました # : 再処理関連事故等や他の団体が主催した行事など

日本原燃株：以下「原燃」

2005.2.22 三陸の海を放射能から守る岩手の会 発足

4.19 英セラフィールド再処理工場（THORP）で放射性溶液約83m³漏えい事故 以降施設操業停止

5.8 水口憲哉東京海洋大教授講演会 盛岡市 おでって # 9.1宮古市、9.2陸前高田市で開催

6.1 「止めよう！再処理」ミニコミ紙第1号発行

6.23 原燃に質問書を提出 8.15 回答受領

7 「放射能を海に流させないことを求める署名」取組開始

10.3 増田知事に署名と要望書提出、直接請願

県議会本会議で「三陸の海を守る請願」全会派一致で採択

11.5 宮古市、山田町等の有志「豊かな三陸の海を守る会」結成

11.20 マーチン・フォーウッド氏講演会「セラフィールド再処理工場の今を語る」 盛岡市内デモ行進

11 「アクティブ試験の安全協定を結ばないことを求める署名」開始

12 「豊かな三陸の海を守る会」沿岸市町村「三陸の海を放射能から守ることを求める意見書」採択の要請

2006.1 「再処理Q&A」冊子作成

1.25 青森県三村申吾知事宛要望書「アクティブ試験を実施しないことを求める」と署名（8720筆）を提出

2.25~27 青森県アクティブ試験県民説明会に会員が参加

青森市1、六ヶ所村2、八戸5、むつ市1、弘前市5人

2.25~26水口憲哉東京海洋大教授講演会山田町150名、釜石市30名、気仙沼市60名

2.28 岩手県議会で増田知事「水産業を守る、海洋汚染はあってはならない」

3 沿岸15市町村長が原燃に要請文 岩手県漁連が岩手県知事に要望書を提出

岩手県知事原燃に説明要請 田老漁協学習会110名、本会等六ヶ所村長へ要望書提出

3.27 岩手県庁（環境生活部）へ突然の説明会開催受け入れに抗議行動

3.28 原燃岩手県アクティブ試験説明会、久慈市、宮古市

3.31 原燃アクティブ試験開始 （本会 抗議声明原燃に送付）

4.14 原燃、原子力安全委員会、保安院、青森県、六ヶ所村へハル洗浄液の漏えい事故に関わる抗議文を提出

- 4.18 原燃に質問状提出 原燃へ本会2名、青森県3名 ハル洗浄水漏れ事故に関する質問
- 4.28 守る会と 宮古熊坂市長へ要請行動
- # 参議院農水委員会で民主主導議員食品の安全で質問
 - # 4.20 チェルノブイリ事故20周年、再処理止めよう東京行動 1名
- 5.1 放射性廃液海洋投棄に関する抗議文を送付
- # 5.2 岩手県市長会、原燃視察
- 5.8 原燃に「洞道放射能漏れに関する」質問状送付
- 5.16 青森県知事、日本原燃社長へ要求行動 情報公開などモニタリングの改善を求める16市民団体で
- # 5/18 県漁連など水産関係6団体代表が県知事と県議会議長あて要望書を提出
- 6.10 「六ヶ所ラプソディ」上映会 盛岡市おでってホールにて 160人
- # この他、北上市110人、陸前高田市200人で上映会が実施
 - # 水産団体が鈴木俊一議員へ、県町村会が原燃へ、久慈地区原水禁が原燃と青森県へ、共産党岩手県委員会が岩手県に対して、要請行動あり。県議会で平野議員が、盛岡市議会で千葉議員が質問。
 - # 熊坂宮古市長、宮古周辺3漁協が原燃に説明会を要請 # 岩手県が原燃を訪問し安全確保を要請
- 8.12 第二ステップ開始に抗議文を送付
- 9.30 小出裕章さん講演会 盛岡市勤労福祉センター 県知事へのハガキ要請行動
- 10.25 県知事へ要望書提出行動 14市民団体・放射線監視委員会、情報公開、説明会開催、アセス、法制定
- # 11.25 宮古市で六ヶ所ラプソディ上映会 11.26 盛岡市上映会 キャラホール
- 12.21 県議会議長に陳情書を提出、豊かな三陸の海を守る会と共同で
- # 県議会で再処理工場、質問相次ぐ、三浦議員、斎藤議員、高橋比奈子議員、伊沢議員、高橋博之議員
- 11.22 原燃への質問要請行動、全国98市民団体連名による
- # 12.13 宮城・わかめの会宮城県知事と県議会議長に対し署名提出と要請
- 2007.1.26 第三ステップ開始に対する抗議文提出 7団体連名で
- 2 「海に空に放射能を流さないことを求める署名」開始
 - 3. 県議会請願提出「海に空に放射能を流さないことを求める請願」3.14県議会環境福祉委員会審議未了扱い
 - # 3.4 六ヶ所ラプソディ遠野市上映会 404人 # 4.21-22 アースディ・東京 署名3名参加
- 5.15 青森県知事へ要請行動、日本原燃へは要望書提出 花とハーブの里、豊かな三陸の海を守る会と共同行動
「放射能の除去を求める」
- # 5.27 豊かな三陸の海を守る会総会 法制定を求める10市町村で請願採択され、国などへ意見書提出
 - # 5.31 主導議員が国会農水委員会で質問
- 6.15 原燃へ要請行動 11市民団体 耐震・放射能を放出しないこと
- # 6.27 重茂漁協総会で再処理反対決議 署名運動に取り組む
- 6.26 県議会へ請願「原発並排出規制を、放射能を除去せよ」継続審議になる
- 7.3 原燃へ質問状送付、12市民団体 回答8.13あり
- # 7.28 再処理に反対し放射能汚染を阻止する全国ネット・キックオフ集会 クラブ生協
 - # 8.7 県議会環境福祉委員会本会請願に係わる参考人招致 京大山名元教授

- 8.24 青森県議会議員へ耐震安全性の見直しを要望書送る。5市民団体 中越沖地震柏崎刈羽原発事故を受け
#9.4 県議会環境福祉委員会本会請願に係る参考人招致 京大小出裕章さん（本会推薦）
#11.4 原燃 高レベル廃液のガラス固化を始める
- 11.5 国（総理大臣、経産大臣）へ署名92387筆（追加提出計106314筆）提出、参議院議員会館で約80名
参加のもと提出「海に空に放射能を流さないことを求める」川田龍平参議院議員窓口
- 12.27 青森県知事へ質問状提出 21市民団体
#11.27 国会で質問 川田龍平議員参議院環境委員会 環境法関連
#12.4 国会で質問 下田敦子議員参議院経産委員会 ガラス固化関連
#12.7 自然保護21団体が青森県・岩手県知事へ要望書提出行動
- 2008.1.15 原子力安全・保安院へ要請行動 ガラス固化体製造に関して14団体
#1.16 県議会環境福祉委員会学習会経産省原子力安全・保安院 石井康彦核燃サイクル課長参考人
#1.27-28 再処理反対阻止ネット全国集会 岩手からも多数参加 81万973筆の署名提出
#3.22 六ヶ所ラプソディ映画会 久慈市、3.23洋野町、4.13岩泉町
#2.23~24 親潮ネット交流会 宮古市
#3.16 海に空に放射能を捨てないで in仙台集会
- 3.17 青森県知事へ安全協定に署名しないことを求める要請行動 仙台集会の決議に基づく行動
#5.25 豊かな三陸の海を守る市民会議inみやこ 400人
#5.14 原子力安全・保安院要請 ガラス固化作業は中止せよ 151団体
#6.10 主演了議員参議院農水委員会で質問意見、場合によっては停止も
川田龍平議員参議院環境委員会で質問 環境法の不備について
- 6.16 渡辺満久東洋大教授盛岡講演会主催、教育会館 再処理工場直下に活断層 M8の可能性 100名
- 6 県議会へ請願提出「高レベル廃液の安全管理の徹底を求める」継続 12.8僅差4:5で不採択
- 7.31 原燃に質問状提出「高レベル廃液は大地震で大丈夫か」5市民団体 9.1回答受領
#9.6-7 親潮ネット三陸交流会、山田町、大槌町などで
- 9.18 7.31の回答が不備につき原燃を訪問し再質問する 19団体
#9.24 国会原子力政策転換議員懇談会原子力委員会と原子力安全委員会へ耐震関連の要望書を提出
#10.2ガラス固化停止原因究明を求め原子力安全・保安院へ要望書提出全国161団体から
#10.2 アクティブ試験のせん断作業全て終了
- 10.31核燃サイクル安全小委員会委員へ要望書を送付、2月から各種委員へ働きかけ継続
#11.23 県内3大学生有志主催六ヶ所ラプソディ上映会 岩大 「高レベル
- 12.5 下田敦子参議院議員質問主意書提出 12.16回答受領 再処理工場の安全に係わり、廃液240m³
- 12.11 青森県知事へ質問状提出 38市民団体 1.9回答を得る 高レベル放射性廃液の耐震安全管理は大丈夫か
- 12.18 三国会議員呼びかけによる、市民と国の省庁交渉 高レベル廃液の耐震安全を中心に 市民5名
- 12.25 岩手県達増知事への申し入れ 県内11団体、瀬川部長は「最終処分場は受け入れない」と回答
2009. #1.9 高レベル廃液のガラス固化建屋セル内漏えい約150リットル 1.21に発見され公表
1.26 青森県知事へ要望書提出 高レベル廃液事故による環境汚染が絶対に起こらないように、記者会見

- # 2.7-8 六ヶ所ラプソディ市民サミットin盛岡 170名 4つのアクションプラン
- # 2.18 原燃へ高レベル廃液の漏えいに関する抗議行動 全国87団体賛同による抗議文提出
- 2.28~3.1 オーガニックショー東京、出展 参加
- # 3.5 主演了議員参議院予算委員会で質問
- 3.10 原燃へ質問状提出 排水モニターに異常ピーク出現に関して 10団体
- 3.27 国会議員17名（岩手選出他）へ要請活動（耐震、高レベル廃液漏洩、再処理凍結、環境基本法の尊重等）
- 4.2 総合エネルギー調査会六ヶ所総点検検討会委員へ要請、4.23構造WG委員へ要請
- #4.19青森市長に脱原発県議鹿内氏が当選
- 4.28~29 国会議員5名へ要請活動
- 5 全国署名開始「海に空に、これ以上放射能汚染を広げないよう、再処理工場の稼働凍結を求める」
集約3団体 花とハーブの里、わかめの会、三陸の海・岩手の会
- # 5.20北海道新聞が再処理問題特集掲載、重茂漁協、本会も取材を受ける
- 5.27 各政党へマニフェストに再処理工場の停止を盛り込むよう要請 衆参17名の国会議員へ
- #5.28 再処理反対署名100万筆突破（阻止ネット主体？）
- # 6.9 豊かな三陸の海を守る会請願海を守る法律制定、金ヶ崎町採択 採択市町村県内33/35
- 6.16 ノルウェー政府「セラフィールド再処理工場の高レベル廃液漏洩シミュレーション」翻訳公開
- 6.22 総合エネルギー調査会地震・津波等合同WG委員へ「科学的慎重審議を」要請書を送付
- 6.24 原子力委員会、原子力安全委員会委員10名に高レベル廃液漏洩の抗議・要望書を提出 90団体
- 7.6 三陸の海・岩手の会 第100回例会 →7.17記念映画会「タイマグラばあちゃん」・交流会 専立寺
- 7.14 原子力安全委員会のWG委員17/18名に再処理耐震について慎重審議を求める要望書を送付
- 9.19 全国連帯、街頭一斉署名 盛岡市サンビル前で（9.20仙台市や9.26宮古市でも）、11・14街頭署名肴町
- 9 カラーリーフ「海に空にこれ以上放射能を流さないで！ 六ヶ所再処理工場Q&A」作成
- 10.2 国会議員約40名へ、高レベル廃液の厳重管理等5項目を要請 6団体で
- 10.2~4 NO NUKE FESTA2009全国集会・市民サミット 参加
- 11.10 「高レベル廃液の安全管理に関する質問主意書」川田龍平参議院議員から提出していただく 20日答弁書
#11.15 「地層処分を考えるフォーラム」サンセール盛岡 政府主催
- 2010.1.20 全国署名「再処理の凍結、高レベル廃液の絶対安全管理を求める」95694筆、鳩山総理大臣へ提出93団体
- 2 原子力安全保安院管轄審議委員の兼務状況一覧作成公開、斑目春樹17、大橋弘忠13、関村直人11、山内10
3.9 英国から返還ガラス固化体28本（150リットル/本）日本原燃、今後850本返還の予定
- 4.14 日本原燃と青森県へ「高レベル廃液の耐震安全と高レベル廃液漏洩」要望・質問・抗議書直接提出
- 4.20 再質問主意書「高レベル廃液の安全管理など」川田龍平参議院議員 答弁書4.30受領
- 5.21 参議院議員選挙 各政党へ「再処理の見直しを求める」要望書を提出
- # 6.17 再処理工場A溶融炉内に落下天井レンガ18回目で回収成功
- 7.8 六ヶ所村尾駒井戸水から全国最高濃度のストロンチウム90が検出（09年第3四半期）、根拠を公開
- 7.20~24 「三陸の海を守ろう展」盛岡市 いわて教育文化研究会と共に 高校教育会館
- 7.26 保安院長、核燃サイクル課長、再処理WG委員17名へ「ガラス固化トラブル検証と慎重審議を」要請送る

7.30分離建屋の高レベル廃液蒸発濃縮缶Aの温度計に穴空きによる作業員被ばく、そのまま使用継続する判断

8.5 「福島原発プルサーマル承認をしないでほしい」福島県知事宛要請書を提出

10.5 「ガラス固化A炉の失敗検証をせずB炉試験を開始」に抗議 268団体で衆議院第2議員会館

10.29 総合資源エネルギー調査会、再処理WG委員へ「A炉トラブルの検証、ガラス固化見通しを」要請書送付

10.30 菅総理トップセール ベトナム原発2基 日本受注

11.16 「ガラス固化溶融炉試験に関する」質問主意書を服部良一衆議院議員から提出して頂く、答弁11.26受領

2011.1.28 国會議員8名へ要請（ベトナム原発受注慎重審議を、食品中放射能基準を決めること等）3団体で

2.21 原子力委員会新大綱策定会議 本会2名傍聴 伴英幸委員を激励

3 再処理工場周辺放射能汚染マップ（公的データに見る）完成、Peace Land協力

3.11 東日本大震災 福島第一原発大事故（INESレベル7）12日1号機、14日3号機、15日2、4号機爆発

3.15 「原子力事故への対応について、放射線測定値の判断目安」ネットにアップ

3.25 岩手県知事へ「国民を原発事故による放射能汚染から守るための緊急要望書」を提出、県議会会派、県選出国会議員へ、本会と、岩手有機農業研究会の2団体で提出

#4~7.22 クランボンの会「原子力災害避難・退避の手引」作成、本会も協力

4.28 原燃に原発事故を受けて「高レベル廃液の安全」質問要請、青森県知事と六ヶ所村長へ行政指導を要請

六ヶ所村でチラシ「私たちは愛するこの地で生き続けたい！高レベル廃液が爆発すると大破局」5団体

5.14~15 岩手県南42小学校校庭における空間線量率を測定しマップを作成、岩教組と本会合同調査、6月公開

6.1 降下物中のヨウ素131とセシウム137の全国汚染マップ（文科省データを基に）作成公開

6.13 東北電力へ、女川原発・東通原発について（安全対策、再稼働しないこと）要請11市民団体で

6.17 環境省災害廃棄物安全評価検討会委員7名へ「汚染がれきの焼却をしないこと」要望書提出

7.1 「止めよう！再処理」第100号発行 「女川、東通原発を稼働しないで！」

8.11 「北電泊原発3号機の運転停止を求める」北海道知事、菅総理、経産大臣へ提出

8.29 「原子力災害に備えてーあなたと大切な家族を守るためー」発行

9.16 国會議員30名に「高レベル廃液の安全管理を徹底させること」要望書提出 2団体で院内回り

#10 「子どもたちの給食を考える会・いわて」結成 食材の安全を求める要望書提出、県議会請願採択等

11.29 日本原子力研究開発機構へ「高レベル廃液の安全に関する」質問状を提出75団体で、本会3名

2012.1.24 東電を公害罪で東京地検に告発 本会有志他9名による （受理せず、理由を質したが明示せず）

1.26 「原発さよなら署名」136673筆提出 95市民団体 再稼働反対、再処理反対 本会6名

//~27 再処理からの撤退と高レベル廃液の安全管理を求め国會議員衆21名、参16名回り23団体、本会4名

4.12 「汚染瓦礫の焼却処理等に関する」質問主意書を提出、川田龍平参議院議員 4・20答弁書受領

// 原子力関連業界から多額の寄付金等を受領していた3教授（山名、田中、山口）に審議委員辞任を要求

4.25 岩手県知事へILC（国際リニアコライダー）誘致に関する質問・要望書提出 高レベル廃棄物搬入：無答

6.2小出裕章さん講演会、放射能問題市民交流会発足

6.25 JAEA東海再処理工場「重大事故」再質問状提出、東海村長へ「重大事故対策の指導強化」要望、80団体

7.5 岩手県議会「再処理工場の放射能汚染から守る」請願の一部（高レベル廃液安全管理を行うこと）採択

10.13 さよなら原発岩手県集会・デモ行進 に賛同参加

- 11.21 「岩手県南三市町の子どもたちの甲状腺検査実施を求める」県知事要望書提出 37団体連名
- # 12.9 放射能問題市民交流会 第二回 本会から多数参加
- # 12.15 さよなら原発世界大集会・脱原発世界大行進 Nuclear Free Now 本会 3名参加
2013. # 1.4 ガラス溶融炉B系列におけるガラス固化試験の終了について (B炉 終了報告)
- 1.9 再処理工場のガラス固化試験報告に関し原燃へ廃液量の減少について確認「減っていない」との回答
- 1.11 「再処理工場の事故防止に関する要望」約50名の国会議員回り
- 1.28 岩手県知事へ「震災発生物・放射能汚染物の焼却処理に関する質問書提出、7団体 2.12回答受領
- 2.18 「東海・六ヶ所再処理工場の安全規制等に関する質問主意書」川田龍平議員提出、答弁書を受領
六ヶ所に高レベル廃液が約 202m³ あり。東海には約 394m³ 存在が判明
- # 2.27 盛岡市除染基準を 0.19 μSv/h に引き下げ「子供達の放射線被ばく低減化を推進する盛岡の会」請願
- 5.30 参議院内集会「放射性物質による汚染防止のため環境基本法並びに関連法の整備を求めます」41 団体
安倍総理、石原環境大臣、田中原子力規制委員長宛提出
- # 5.31 ガラス溶融炉 A 系列におけるガラス固化試験の結果について (試験終了報告)
- 6.15 さよなら原発岩手県集会 2013 賛同 参加 31 団体
- 6.15~16 大間原発反対集会 大 MAGUROCK 本会 5 名参加
- 6.24 「環境基本法に基づく厳正な“放射性物質による環境汚染防止のための措置”と関連個別法の整備に関する質問主意書」を川田龍平議員提出、答弁書 7.2 受領
- # 6.25-27 DAYS 行動する 3.11 の会 2 名
- 7.5 宮古市長へ「放射能汚染物牧草等の焼却処理に関する質問と要望書」を 39 団体で提出
- # 7.19 金曜デモ in 盛岡第 50 回記念
- 7.26 矢巾町長へ汚染物焼却処理中止を求める要望書を提出 16 団体
- # 7.26 原燃「再処理施設アクティブ試験におけるガラス固化試験結果等に係る報告について」規制委へ提出
- 8.18 DAYS 行動する会「もうがまんできない」 横浜開港記念会館 本会 3 名
- 8.24 遠野市汚染能汚染物焼却問題シンポ参加 放射能から遠野のわらすっ子たちを守る会
- 8.31~9.1 オーガニックフェスタ in いわて展示など参加 紫波中央駅前
- 9.3 岩手県知事「県南 3 市町の子供たちの健康調査の要望書」を 76 団体で提出 10.4 回答受領
- # 9.7 一関千厩 ILC 学習会参加 東いわいコーポ委員会
- 10.3 奥州市で放射能汚染物焼却処理予定に関する問題提起学習会 講師派遣
- 10.13 No Nukes Day 原発ゼロ 統一行動 全国集会参加
- # 11.24 第 3 回放射能問題市民交流会 盛岡市 参加
- 12.1 阻止ネットフォーラム再処理大事故防止 本会員講師 YMCA アジア青少年センター（東京）
- # 12.12 宮古市民の指摘があり福島県鮫川村の焼却収支を計算すると約 25% の放射性セシウムが大気へ放出されていたことがわかる。論文公開
- 12.5 「放射能汚染物焼却処理に関する質問主意書」を川田龍平議員に提出して頂く、答弁書 12.13 受領
- 12.22 再稼働反対国会包囲全国集会参加 本会 2 名
- // 国立国会図書館にて国の焼却答弁書に関わる資料の調査

- 2014.1 # 1.7 日本原燃が新規制基準に関する審査要請を国へ提出
2.6 がん登録等の推進に関する法律の施行に関する質問主意書を国へ提出（川田議員）し回答を得る
2.23~24 日本有機農業研究会全国大会零石大会分科会で「脱原発・住民運動、再処理」報告・参加。
2.28 「岩手県南3市町の子ども達の健康調査を求める」県議会請願を県内5団体で提出 繼続審議
2.28 「ストロンチウム90に係わる福島周辺海域の調査と水産食品の摂取限度濃度制定を求める要請」
参議院院内集会を本会主催（川田龍平議員事務所仲介）96団体賛同で実施
#3.9 NO NUKE DAY 原発ゼロ 大統一日比谷行動 参加
3.25 ストロンチウム90等に関する質問主意書（川田龍平議員より）を提出、回答を得る。
4.18 一関市廃棄物焼却施設狐禅寺で説明会住民側から反発 県内各地で汚染物の焼却問題が顕在化
宮古市のみんなの焼却問題にかかる連続研究調査論文を本会のHPにアップ、風下で線量上昇
5.29 アーニー・ガンダーセン氏とスカイプで米と宮古市・盛岡市民の交流 通訳金子さん
6.8 「岩手県の放射能汚染マップ」報告会：放射線被曝から子どもを守る会・いわて、岩大築城さん
6.10 原子力規制委員候補 田中知東大教授へ政府の各種審議委員等を辞退を求める要請文を郵送
#6.17 平泉町の子ども達の甲状腺検査を求める請願が採択、平泉町の地元市民2団体提出
6.21 六ヶ所村長選挙反核燃候補を会として応援現地で応援 5人
6.29 ゴミ焼却を考える郡山学習会・実践講座 講師派遣
#7.5 さよなら原発岩手県集会 広瀬隆氏講演会 協賛
7.31 原燃六ヶ所再処理工場に「重大事故防止に係わる要請・質問状」を提出 92団体 10.1 回答受領
8.10 加藤登紀子・小出裕章イン女川集会賛同、参加
#9.3 県議会請願甲状腺検査に関する明石真言参考人意見聴取 傍聴
9.8 岩手・玉山環境組合で汚染物の焼却計画で盛岡市長・岩手町長・組合長へ要請質問書を提出、
#10.19 NUMO[地層処分を考える]シンポジウム 参加 質問し回答を得る
#11.7 金曜デモ100回「勉強会山菜キノコを食べる時」講師・参加
#11.23 第4回放射能問題市民交流会報告参加
11.29 山形県鶴岡市「いのちと放射能」本会講師・参加
#12.8 甲状腺検査請願に係わる県議会傍聴西尾正道参考人 傍聴 請願は不採択になる
12.17 消費者庁「食品の放射性物質の取組」盛岡集会に参加 質問
2015.1.28 岩手県知事へ「ゴミ焼却施設で放射能汚染物を焼却することについて要望・質問書」30団体で提出
資源循環課で 10名参加要請する。 1月28日回答を得る
1.30 参議院内にて「再処理工場新規制基準等に関する政府との意見交換会」委員会・省庁官僚12名参加
市民は30名ほど参加本会8名、 市民集会後、官僚との意見交換会、反省会 川田議員主催
3.4 川田龍平参議院議員から質問主意書を3つ提出（1.30集会を受け）答弁書は3.10受領
提出番号53「福島第一原発の11万倍ものトリチウムが六ヶ所再処理工場から放出されたことに関する」
提出番号54「六ヶ所・東海両再処理工場の重大事故と新規制基準適合審査の強化等に関する」
提出番号55「再処理工場の高レベル廃液の危険性と六ヶ所再処理工場のアクティブ試験の審査に関する」
3.12 岩手県議会へ「海を守るために、再処理工場放出水のトリチウム濃度を原発並み規制にすることを

求める」請願を2団体から提出 *原発事故により東電と福島県漁連との協定が出たため提出 不採択

4.6 #川田議員 再処理工場の危険性について質問

4.18 さようなら原発岩手県集会 講演後藤宣代さん、デモ行進 本会協賛多数参加

4.28 川田龍平参議院議員から再質問主意書を3つ提出（3.10 答弁書を受け）答弁書は5.12 受領

提出番号 121 「福島第一原発の11万倍ものトリチウムが六ヶ所再処理工場から放出されたことに関する」

提出番号 122 「六ヶ所・東海両再処理工場の重大事故と新規制基準適合審査の強化等に関する」

提出番号 123 「再処理工場の高レベル廃液の危険性と六ヶ所再処理工場のアクティブ試験の審査に関する」

5.13 川田龍平参議院議員、再処理工場に關わる国会質問

6.15 提出番号 166 「六ヶ所再処理工場の高レベル廃液のガラス固化に関する」 質問主意書提出、6.22 答弁受領

6.12 「マジっ！！福島原発の11万倍も垂れ流すの！！、大変だ！」 カラーリーフ作成

7.14 再々質問主意書提出番号 206 「日本原燃六ヶ所再処理工場の高レベル廃液のガラス固化に関する」

川田議員提出 答弁書 7.28 受領

7.28 岩手県知事選候補者達増拓也氏、平野達男氏へ原子力政策アンケートを送付 8.13 達増氏から回答得る

国から本県が高レベル放射性廃棄物の最終処分場に指定された場合は「反対する」

8.12 再々質問主意書提出番号 239 「日本原燃六ヶ所再処理工場の高レベル廃液のガラス固化に関する」

川田議員提出 答弁書 8.21 受領

*8.25 三陸の海・岩手の会 第239回例会 専立寺

*8.30 「止めよう！再処理 天恵の海」第158号発行（川内原発冷却系にトラブル、すぐに全面停止を）

9.26～27 三陸の海を放射能から守る岩手の会 十周年記念 交流会

この10年 4つの節目、5期間に分けて活動の動向を見る

I期 (2005.2.22 三陸の海・岩手の会発足～2006.3.31 アクティブ試験開始)

六ヶ所再処理工場の危険性を訴え、アクティブ試験阻止の活動

II期 (2006.3.31 アクティブ試験開始～2007.11.4 ガラス固化開始)

海に空に放射能を流さないで、放射能の環境放出阻止を全国へ働きかける活動

III期 (2007.11.4 ガラス固化開始～2011.3.11 福島原発大事故発生)

超危険な高レベル廃液の安全管理を求める活動

IV期 (2011.3.11 福島原発大事故発生～2014.1.7 原燃が国へ新規制基準審査要請)

原発事故による広域放射能汚染対策（広報、焼却、健康検査等）の活動

東海・六ヶ所再処理で大事故を起こさせない活動

*ガラス固化試験（アクティブ試験）の終了報告、原子力規制の混乱時：疑問

V期 (2014.1.7 原燃が国へ新規制基準審査要請～2015.9 現在)

本格操業を止めるため（ガラス固化終了の疑惑、大事故を起こさせない審査要求）活動

(まとめ 永田)

二陸の海・岩手の会十周年記念大交流会 ご参加の皆様へのメッセージ

二陸の海を放射能から守る岩手の会、設立十周年おめでとうございます。そして本日の、ご盛会を心よりお祝い申し上げます。日程の都合がつかず出席がかなわず、大変申し訳ございません。皆様のこれまでのたゆまぬお取り組みに心より敬意を表します。

私はこの八年、永田様、皆様のご指導を仰ぎながら、六カ所再処理工場の環境汚染問題について参議院の委員会質問や、質問主意書で政府を追及してきました。今月も日本原燃、規制庁と、高レベル放射性廃棄物の処理工程や事故についての意見交換の場を設けたところです。引き続き、二陸の海を守るためにともにがんばりましょう。

一〇一五年九月吉日

参議院議員

川 田 雄 幸

「こんにちは。

郵送してくださった「三陸の海・いわての会10周年記念“大”交流会】へのお誘いなど、いただきました。

ありがとうございました。

「再処理のみならず、再稼働、安保法案、沖縄普天間基地などなど、社会問題全般」を地酒を酌み交わしながら話すこと、とても魅力的なお誘いです。

ただ、9月25日、26日と私は東京、埼玉の集会に出かける約束をすでににしてしまっていて、残念ながらお伺いできません。

盛会になることを願っています。

2015/8/17 小出 裕章 」

青森県弘前市で、29年前のチェルノブイリ原発事故をきっかけに、原発や六ヶ所再処理工場に反対してデモを続けているグループです。三陸の海・岩手の会10周年おめでとうございます。

私たちは、200回までは毎月1回、その後は2ヶ月に1回デモを行い、8月22日に275回のデモを11人で歩きました。

私は一時、「10年」とか「150回」とかが本当は喜ばしい事なのか考えた時期がありました。でも、150回のデモの申請を行った時、許可係のおまわりさんが話した「今度で150回種、盛大にお祝いでもするのかね」「いえ、別にめでたい事でもないし」「いいや、運動する人にとっては大変な事だよ」と言う言葉を思い出します。

私たちも200回デモの後、岩木山のふもとの温泉で宿泊交流会をひらきました。2011年250回を一区切りにしようと思っていた時、福島第一原発事故がおこりました。私たちの小さなデモは少ない時は3人という時もありましたが「3.11」以降は10人以上です。後で後悔しないためにも「かくねんまいね」の声はあげ続けていきたいと思っています。

9月5日、青森市で安保法案反対集会があり、1,400人集まりました。私も参加しました。同じ志を持った人達といろいろ話してみたかったです。

盛会でありますように！

放射能から子どもを守る母親の会 倉坪芳子

三陸の海・岩手の会 10周年記念 “大”交流会へのメッセージ

再処理工場反対の息ながいご活躍に敬意いを表したいとおもいます。

事故続きでほとんど操業の見込みのない現状、再処理後のプルトニウムの利用を目的とする高速増殖炉の失敗、高レベル廃棄物の最終処分場の問題など何一つ解決の目途は立っていません。

それにもかかわらず政府は核燃サイクル政策をあきらめません。そしてさらに使用済み燃料を生む再稼働おも認めています。

首都圏でも再処理反対の活動は10数年続けています。毎月1回「再処理ニュース」を発行して、全国会議員や経済産業省別館前での同職員や通行人への配布。資源エネルギー庁への要請行動など続けています。

全国各地から核燃サイクルの問題点を明らかにして、反対の声を上げることこそ大きな力です。

協力して再処理工場の操業をゆるさず、核燃サイクル政策を撤回させましょう。

山口泰子（再処理とめたい首都圏市民のつどい会員）

10周年記念、ご苦労さまです。

再処理工場はまともに動く見通しもないのに、国はあくまで原発再稼働→再処理→プルトニウム利用という建前を崩そうとはしません。

再処理工場だけは国の認可法人にするという動きまで出ているこの頃ですが、原燃PR館は閑散としています。持ち帰りできるパンフレットも1種類だけ。電力会社がお金を出し渋っているようです。表面の動きはどうあれ、原発に未来はないと電力会社はわかっているのでしょうか。

これからもご指導くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

六ヶ所村・菊川慶子

三陸の海を守る岩手の会 10周年によせて

常日頃のたゆまない活動に敬意を表します。わたしたち「わかめの会」は、「岩手の会」の皆様の動きに触発され 2006 年に活動を開始しましたが、特に「岩手の会」の皆様などと共に作り上げた盛岡での第 1 回「六ラブサミット」の熱気は忘れることができません。震災後は福島原発事故による放射能汚染や女川原発再稼働の問題などに追われ、なかなか再処理工場のことまで取り組めず忸怩たる思いです（せめてもの思いとして、毎週金曜日の「みやぎ金曜デモ」では、必ず「再処理工場建設するな！」とのコールを上げています）が、「岩手の会」のみなさまが粘り強く取り組んでこられていることに、いつも勇気を頂いております。

福島原発事故をきっかけに世論は「脱原発」に傾いてはいるものの、政府や電力会社は決して原発・核燃推進の旗を降ろしてはいません。私たちも考えられるいろんな方法で、再処理を止め、原発を止める取組みをさらに追求していきたいと思います。

震災の被害を受けたこの東北の地から、これまでとは違った新しい社会をつくるために、これからもともに頑張りましょう！

三陸・宮城の海を放射能から守る仙台の会（わかめの会）

事務局 舘脇章宏

10周年記念大交流会 アピール

2005年2月に「三陸の海・岩手の会」が発足して早くも10年、その前身にあたる「放射能汚染からふるさとの自然と子ども達のいのちを守る会」から数えれば有に34年にわたり、私たちは一貫して「海を、空を、大地を放射能で汚してはいけない」「子ども達に汚染された環境をわたすのだけはいやだ」と活動を続けてきました。はじめは地域の問題として取り組んできましたが、再処理工場に取り組んでからは、東北の問題、日本の問題、そして世界さえ視野に入る活動となりました。取り返しがつかなくなる前になんとかしたかったのです。しかし2011年3月11日、福島第一原発はレベル7の事故を起こし、人々はいやが上にも目を見開かざるを得なくなりました。

あの日から4年半、未だ10万人を超す人々がふるさとを追われ避難生活を余儀なくされているというのに、政府は汚染された地域への人々の帰還を進め、原発を再稼働させ、再処理工場さえ動かそうとして、かつての「原子力ムラ」の再現を図っているようです。しかし、3・11を境に前と後で人々の意識は大きく変わりました。同じものの再現はあり得ないことです。しかもこの4年半で、原発を中心とした社会が大きな秘密を抱え、差別主義を前提にしてしか存続しない社会であることはつきりしてきました。これが、子ども達、孫たちに残してゆきたい社会であるはずもありません。それがわかったのです。

私たちは「三陸の海・岩手の会」として10年間、活動してきました。また必要なら10年、同じように活動してゆこうではありませんか。以前とはきっと違うはずです。

私たちは、次のようにアピールいたします。

1. これまでのように正確な情報の取得と発信につとめ、再処理、プルトニウム利用の早急な廃止、再処理工場にある高レベル放射性廃液の早急な安全化を要求し続ける。
2. 原発稼働を早急に停止・廃止し、放射性廃棄物を既存以上に作らないよう要望し続ける。
3. 原発稼働社会が持つ秘密主義、差別主義を克服すべく、諸機関に発信し努力する。

2015年9月27日

「三陸の海・岩手の会」10周年記念大交流会出席者